

中間報告「防災教育開発機構」



平成21年12月3日

防災教育開発機構(人と防災未来センター) 山本健一

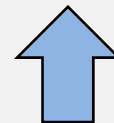
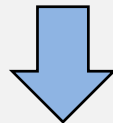
事業関係機関

【防災教育推進委員会】

【防災教育開発機構】

兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会、
神戸学院大学、兵庫県立舞子高等学校、
人と防災未来センター

神戸海洋気象台、兵庫県防災企画局、
神戸市危機管理室、神戸市消防局



研究機関、教育機関、報道機関、国際機関、
企業、NPO、地域団体、保護者 等

防災教育支援事業 【最終成果：予定】

教材／教育プログラム

幼・小学校

緊急地震速報
関連教材

ユース震災語
り部DVD

GIS活用ハザー
ドマップ作成

高校

特別
支援

障害者対応

全国防災教材
の分類表

防災教育支援
ガイドブック
(神戸市内の
小学校・地域
連携用の冊子)

未来につなぐ
防災教育
(神戸での実践を
まとめた教員向
け冊子)

研修プログラム

初級・中級・上級

防災教育推進指導員養成講座 <見直し>

上記講座受講→EARTH員

EARTH訓練・研修会 <見直し>

全国普及のための成果取りまとめ冊子

成果の広域普及

全 国

防災教育開発機
構ホームページ

EARTH員の活動

震災15年行事、
他地域との連携

地域報告会

兵庫県(地区別)
全公立学校対象
防災教育研修会

神戸市防災教育
担当者研修会

地 域

① 防災科学技術教育関連教材等の作成

- ・緊急地震速報関連教材
- ・GIS活用ハザードマップ作成授業
- ・障害者対応教材

② 教職員等対象の研修カリキュラムの開発・実施

- ・防災教育推進指導員養成講座プログラムの見直し
- ・EARTH訓練・研修会プログラムの見直し

③ 実践的な防災教育プログラムの開発・実施

- ・防災教育支援ガイドブック(神戸の小学校・地域連携用)
- ・未来につなぐ防災教育(教員向け冊子)

④ 地域の実情に応じた先進的な取組の実施

- ・ユース震災語り部DVD
- ・成果の広域普及

緊急地震速報関連教材

目 的

神戸海洋気象台の知見を得て、緊急地震速報が配信されたらどう対応するべきなのかを「考えてもらう」教材を開発。

取組状況

【平成20年度】＜教材の試行開発＞

カード：それぞれに「頭を守る」「ドアを閉める」等の行動記載。

ワークシート：緊急地震速報の基礎知識の記載と、「寝ているとき」「学校の教室」等の様々な状況の設定。

マニュアル：緊急地震速報の詳細記載と、カードとワークシートを使って様々な学習が可能なことを例示。

【平成21年度】

・兵庫県内小学校で実験授業を実施中。

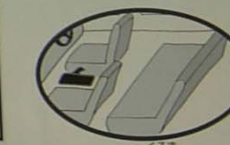
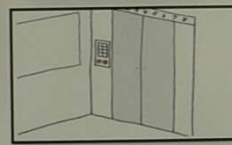
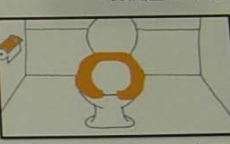
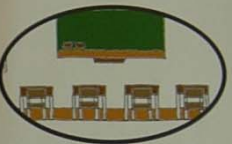
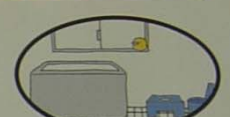


緊急地震速報ってなあに？

緊急地震速報とは、地震の小さな揺れをキャッチして、大きな揺れが来ることを知らせる情報です。



大きな地震は・・・もしかしたら、こんなときに来るかもしれない！？



いざというときのことを考えてますか？



GISを活用したハザードマップ作成授業

目 的

GISを活用した防災マップの作成や、地域の地震危険度評価等を行う授業を試行し、その内容・手順等を、全国で実施できるプログラム案としてとりまとめ。

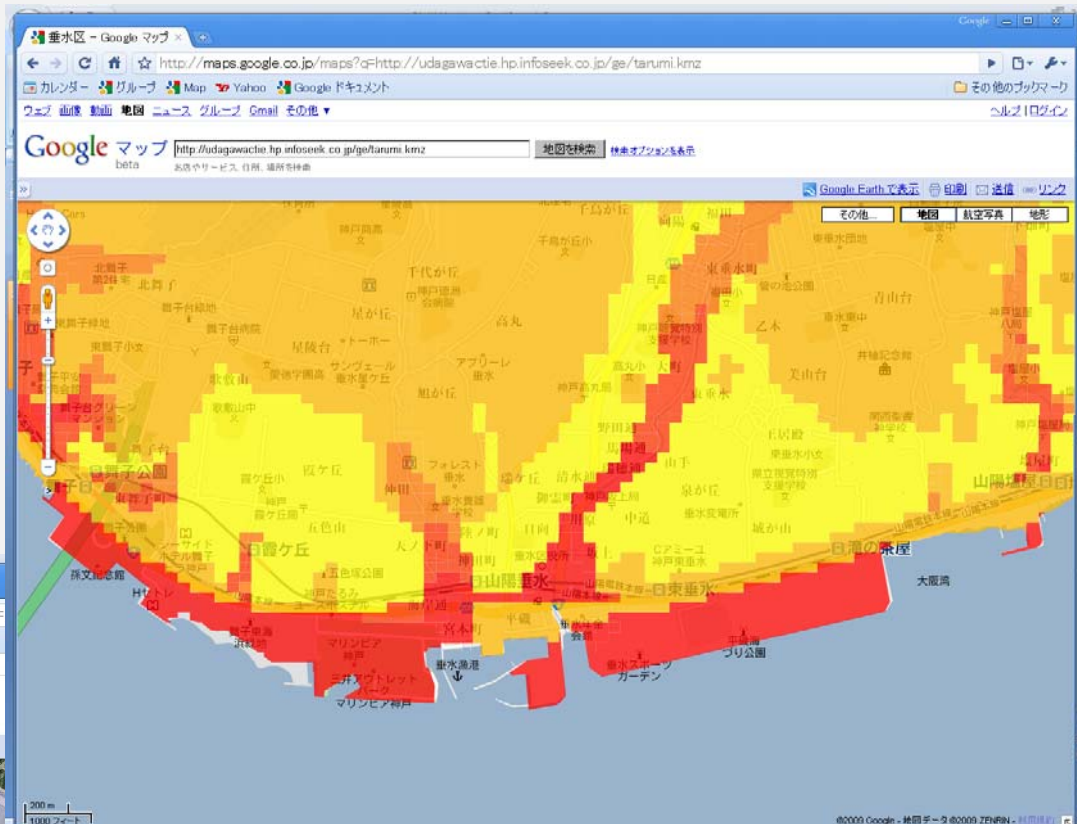
取組状況

【平成20年度】

- ・兵庫県、神戸市からのGISデータ提供等によりデータ整備。
- ・兵庫県立舞子高校で地震災害を例に試行(2学期授業)。

【平成21年度】

- ・兵庫県GISデータについて、当機構HPで公開開始。
- ・神戸市立神港高校・情報処理科で、災害危険度GISデータを活用した単元の実施予定(3学期授業)。



発達・視覚障害等に対応した防災教材

目 的

発達障害や視覚障害のある児童生徒に対する防災教育用のマルチメディア教材の作成。

<背景>「障害のある児童及び生徒のための教科用特定図書等の普及の促進等に関する法律」の公布(H20.6.18)

取組状況

- ・「幸せ運ぼう 中学生版」(神戸市教育委員会)の一部について試行的なDAISY (Digital Accessible Information System) 化作業を終了。兵庫県内の特別支援教育関係機関に提供し、意見照会中。
- ・今後も、「幸せ運ぼう」「明日に生きる」等をもとに、マルチメディアDAISY教材を開発予定。

わたしたちのまち、神戸

阪神・淡路大震災によって **神戸の建物や施設の多くは、** 取り壊さなければなりませんでした。建物や施設は単に役に立つだけではなく、姿や雰囲気に住んでいる私たちの記憶に刻まれて、そのまちを愛する心を育てます。地震のあと、神戸では復興が進み、まもの機能は元通りに戻りましたが、多くの市民は記憶に残っている以前の神戸の姿がなくなってしまったことを残念に思う気持ちを持っています。



した。とても元気な売り声でした。家の近くまで来てふり返ると神戸のまちがよく見えました。たくさんの家やビルが壊れていましたが、そんな中、クレーンのようなものがビルを壊しているの見えました。ぼくとおとうさんはその様子をしばらく見ていましたが、おとうさんが突然「店に行ってくる」と大きな声で言ったので、**ぼくはちょっとびっくりしましたが、**「ぼくも行く」と久しぶりに元気な声でいきました。その日は遅くまで店のかたづけをしました。

中学一年男子作文



弱視や、学習障害などのニーズに対応

研修プログラムの見直し

【防災教育推進指導員養成講座プログラム】

【平成20年度】

研修プログラムの試行見直し。

＜新設した研修(例)＞

- ・教材開発:教材作成、教材の紹介・防災授業での使用法の演習
※防災教育支援事業で開発した教材の活用
- ・心のケア:ストレス解消法を身につける等の演習
- ・避難所での食の支援:学校が避難所となった際の対応策を理解するための演習

【平成21年度】

見直したプログラム(初級・中級・上級各コース)により兵庫県内で実践中。

研修プログラムの見直し

【EARTH訓練・研修会プログラム】

【平成20年度】

研修プログラムの試行見直し。

＜新設した研修(例)＞

- ・語り継ぎ：震災時に教職員だった者と学生だった者の語り合い、震災体験者と未体験者の語り合い、「ユース震災語り部DVD」の使用、生徒・学生との討論
- ・ボランティア：ボランティア参加の最低知識、子ども達にボランティアの大切さを教える際の基本的考え方等の取得

【平成21年度】

- ・見直したプログラムにより兵庫県内で実践中。

防災教育支援ガイドブック (神戸の小学校・地域連携用)

目 的

小学校と地域が連携して防災教育を行えるよう、防災教育メニュー及び実施に必要な事項を示したガイドブックの作成。

取組状況

【平成20年度】

- ・ 神戸市消防局等が中心となって、神戸市内の12のモデル小学校で防災学習、防災訓練の実践。

【平成21年度】

- ・ 上記成果を踏まえガイドブック作成(41防災教育メニューの提示)。神戸市内の全ての防災福祉コミュニティに配布。
- ・ 他地域でも実践可能なメニューの洗い出し。

地震のイメージを絵で描こう

子どもたちが抱えている地震に対するイメージを絵で描くメニュー
地震が起きたと聞かされたとき、何も情報がない状態で描かせたあとに、写真や映像などを
利用して、イメージと比較することで震災を学ぶメニューです。

ねらい

子どもたちが地震に対するイメージをよりリアルに、より詳細に持つことができます。

45 45 45 45

算数 国語 理科 社会

実施内容
解説 124ページ
資料 210ページ

【導入】
①神戸で大地震が発生したこと、当時の状況について説明します。

【絵を描かせる】
②子どもたちが抱えている地震のイメージを自由に描かせます。

【絵の発表】
③できた絵を見せ合い、若しくは数人にどのようなイメージで絵を描いたか発表させます。

【震災の写真・映像との比較】
④実際の写真や映像を見せ、自分の絵と比べてみてどのように感じたか、気づいたことを発表させます。

【その他】
⑤低学年対象ですが、学年ごとに実施し、イメージを比較してもよいでしょう。

指導ポイント

地震そのものを知らないために、はじめは描けない子どももいるかと思いますが、出来るだけ少ない情報で、頭の中にある地震のイメージを描いてもらうことが重要です。

連携ポイント

教職員だけでなく実施がしやすいメニューです。

防災福祉コミュニティの関わり方

①ゲストティチャーとして、写真・映像を見ながら震災体験の話をお願いします。
②小学校区の被害写真や映像の準備をお願いします。

消防職員・消防団員のサポート

ゲストティチャーとして、写真・映像を見ながら震災体験の話をお願いします。

必要資機材(目安) ※借り受け先に必ず確認して下さい。

資機材名	数	準備可
画用紙、模造紙、もしくは資料集「資料1-1」参照	人数分×2	学校
色鉛筆、クレヨン、絵具など	必要数	学校
「しあわせはこぼろ」などの資料映像(写真)	1	学校
スクリーン	1	学校、消防
プロジェクター	1	学校、消防
DVDプレーヤー	1	学校

家庭への持ち帰り

子どもが描いた絵を家に持って帰らせ、地震について家庭内で話し合ってもらうように指導して下さい。

このメニューに関する+αの知識

地震のイメージと言っても、「建物の被害」「被災者」「津波」などさまざまなシーンがあります。少ない情報で描かせることで、子どもにとっての「地震とは?」を知ることができるメニューです。

このメニューに関する震災や災害での教訓

災害時の避難所では、子どもたちが楽しむアクティビティが少なく、笑顔が日に日に失われていったそうです。本メニューは被害の大きかった地域ではふさわしくないかもしれませんが、「絵を描く」というプログラム自体がこうした状況下で非常に有効です。

ひと工夫

地震のほか「安全な家」「防災グッズ」などをテーマに絵を描かせるのもよいでしょう。メニュー12「わたしの家の防災診断」につなげればさらに効果的です。

未来につなぐ防災教育 (神戸の教員向け冊子)

目 的

学校現場において防災教育をどのような考えでどのように進めていくのが望ましいかを、神戸の実践をもとにとりまとめ。

取組状況

【平成20年度】

・冊子「未来につなぐ防災教育」の作成。

※「ユース震災語り部DVD」の活用状況の紹介等も記載。

【平成21年度】

・神戸市立の全学校(幼・小・中・高・特別支援)に配布、説明。

・他地域に配布し、情報発信。

ユース震災語り部DVD



ユース震災語り部DVD（平成21年度）

DVDの活用

- ・東京消防庁の3防災館（本所、立川、池袋）で常時上映（相談中）、全消防署（80署）で防災教材として活用。
- ・兵庫県芦屋市立山手小学校で実験授業。その成果を踏まえ、全国で使える授業マニュアルを作成中。
- ・神戸市立の全ての学校で防災教材として活用。

語り部の活躍

- ・全国各地の研修等への派遣
（例：千葉県の高校生防災パワーアップ講座）
- ・震災15年記念シンポジウムのパネリスト等で情報発信。
- ・被災地域の若者たちとの交流

成果の全国普及

防災教育開発機構HPからの情報発信

[平成20年度報告書\(概要\)](#)

[防災教育推進委員会資料](#)

[地域報告会等の活動概要](#)

[兵庫県防災GISデータ](#)

[\(発信予定\) 各種事業成果と問い合わせ先](#)